

流行後という時期的な要因が関係しているものと推察される。対応可能な医療機関の情報と平時における予防方法が、重要な項目に選ばれなかった結果について、今後の解明が必要である。

地域住民が必要とする健康危機に関する情報が明らかになることで、国民、自治体、報道関係に対して、よりの確な健康危機情報のフィードバックが行われるものと推測される。必要とされる健康危機情報の的を得た収集は、健康危機管理対策の迅速化、効率化を可能にし、あわせて将来予測に関する可能性を高める基礎となる。

今回の研究は、郵送による調査結果とインターネットによる調査結果との間に相違が存在するのか否かを評価することも目的にあった。インターネット調査の回答者は、事前に登録をしている者に限られているため、回答に偏りが発生するのではないかと言う仮説があるとされている。しかしながら、インターネット調査と郵送調査との間に差異が認められないならば、回答率の低さと時間がかかる郵送調査の代わりに、インターネット調査を活用することが可能となる。健康危機情報は、一般生活情報と異なり市民の健康被害に密接に関わってくる。従って、もしインターネット調査が有効となれば、今後大きな活用が期待される。

一般市民を対象にした郵送調査は、回収率が低い欠点を持つ。今回の調査でも回収率は15.7%であった。今回実施したインターネット調査は、3日間で700例を目標にし、結果として1,000例を超える回答が得られた。今回の実態調査では、インターネットによる調査項目と同一項目の郵送調査の結果とを比較した。両調査に回答した者について、中学校卒にのみ年齢との間に有意差($p < 0.05$)が認められたが、残りの学歴に対する年齢別

および性別の構成に統計的差異は認められず、得られた結果に有意差は認められなかった。このことは従来実施されてきた郵送調査に代わり、インターネットによる調査が利用可能なことを示唆している。時間と手間が掛かる郵送調査に比較し、短期間で結果の得られるインターネット調査は、一般市民を対象としたアンケート調査において、今後有効な手段として活用可能なことが明らかになった。

今回の研究の限界として、郵送調査の回答者が少なかったことが挙げられる。インターネット調査の回答者と同程度の例数があれば、より正確な検討ができたことは否定できない。事前に予想した項目が重要な危機情報として挙げられなかったことは、調査時期の問題等を今後の課題として残した。今回得られた結果を詳細に分析し、原因を追究し、更なる研究へつなげていく必要がある。

E. 結論

地域住民が必要としている健康危機に関する情報は、健康危機情報が各個人に直接関わってくるか否かにある。すなわち発生場所、感染経路と拡散経路、症状および症状が発現した場合の対処方法が、地域住民が必要とする情報として行政機関に必ず求められる。インターネット調査が、健康危機情報に関する有効な調査方法であることが認められた。今度、公衆衛生分野の調査方法として十分活用できる。

F. 研究発表

なし

G. 知的所有権の取得状況

なし

表1. 郵送調査とインターネット調査の回答者の性別、年齢および学歴別比較

最終学歴	中学校卒		高等学校卒		短期大学卒		大学卒											
	MS	IN	MS	IN	MS	IN	MS	IN										
	n	%	n	%	n	%	n	%										
性別																		
男性	8	5.6	17	3.2	43	30.1	137	26.0	21	14.7	57	10.8	69	48.3	314	59.7		
女性	8	4.5	21	3.7	55	30.9	184	32.7	66	37.1	191	34.0	45	25.3	165	29.4		
																	p=0.328	
年齢																		p=0.883
20～29 歳	0	0	8	4.5	17	36.2	36	20.2	16	34.0	55	30.9	14	29.8	79	44.4		
30～39 歳	1	1.7	8	4.4	11	19.0	42	23.1	20	34.5	61	33.5	25	43.1	71	39.0		
40～49 歳	0	0	1	0.5	22	31.9	54	24.5	20	29.0	52	23.6	26	37.7	113	51.4		
50～59 歳	3	4.7	4	1.9	17	26.6	67	31.9	19	29.7	34	16.2	25	39.1	104	49.5		
60 歳以上	14	16.3	17	5.7	32	37.2	122	40.9	12	14.0	46	15.4	24	27.9	112	37.6		
																		p=0.387

Pearson's chi-squared test

MS: 郵送調査、n=329

IN: インターネット調査、n=1088

中学校卒: 中学校卒、旧制小学校・高等小学校卒

高等学校卒: 高等学校卒、旧制中学校・高等女学校卒

短期大学卒: 短期大学卒、高等専門学校卒、旧制高等学校・専門学校卒

表2. 国民のニーズに関する郵送調査の結果から必要とされる重要な健康危機情報

	食中毒	インフルエンザ	SARS	化学物質	医薬品
どこ(どの範囲)で発生しているのか	4.4	4.0	4.3	4.3	
どのような症状がでるのか	4.4	4.3	4.5	4.5	
後遺症や死亡率について					4.3
原因食品、病原体、原因物質は何か	4.3				4.6
感染経路、拡散経路は何か	4.0	4.0	4.2	4.1	
発生飲食店、投与医療機関はどこか	4.0				4.1
危険が予想される地域はどこか				4.0	
症状が発現した場合の対応方法は何か	4.0	4.0	4.1	4.2	4.1

点数は少数第2位を四捨五入し、4.0ポイント以上を採択した。

食中毒:食中毒の集団発生に関する情報

インフルエンザ:インフルエンザ等の感染症に関する情報

SARS:重症呼吸器症候群(SARS)等の未知の感染症に関する情報

化学物質:化学物質・有害物質の流出事故等に関する情報

表3. 国民のニーズに関する郵送調査の結果からあまり必要とは考えられていない健康危機情報

	食中毒	インフルエンザ	SARS	化学物質	医薬品
はじめに何人発症したのか	2.9	2.9			
最初頃に発症した者の性別	2.1		2.5		
最初頃に発症した者の年齢	2.5		2.7		
最初の頃発症した者の移動ルート	2.7				
最初の頃発症した者の利用交通機関	2.5				
最初の頃発症した者の居住地	2.8				
最初の頃発症した者の立ち寄り場所・日時	2.6				
終息宣言後の経過				2.9	

点数は少数第2位を四捨五入し、3.0ポイント未満を採択した。

食中毒:食中毒の集団発生に関する情報

インフルエンザ:インフルエンザ等の感染症に関する情報

SARS:重症呼吸器症候群(SARS)等の未知の感染症に関する情報

化学物質:化学物質・有害物質の流出事故等に関する情報

医薬品:医薬品に関する情報

表4. インターネット調査と郵送調査の比較

調査項目	食中毒	インフルエンザ ^a	SARS	化学物質	医薬品
	IN/MS	IN/MS	IN/MS	IN/MS	IN/MS
いつ発生したのか	3.5/3.6	3.1/3.3	3.6/3.5	3.7/3.6	3.3/3.3
どこ(どの範囲)で発生したのか	3.7/3.8	3.5/3.6	3.8/3.8	3.8/3.7	3.3/3.4
はじめに何人発症したのか	2.9/2.9	2.7/2.8	3.2/3.1	3.1/3.0	3.0/3.0
現在何人発症しているのか	3.2/3.3	3.1/3.1	3.5/3.3	3.4/3.2	3.2/3.3
はじめに何人死亡したのか	3.1/3.1	2.9/2.9	3.2/3.1	3.1/3.0	3.0/3.0
現在何人死亡しているのか	3.3/3.4	3.2/3.2	3.5/3.3	3.4/3.2	3.3/3.3
どのような症状が出るのか	3.8/3.8	3.7/3.6	3.8/3.8	3.9/3.8	3.7/3.7
死亡率はどれくらいか	3.5/3.4	3.3/3.2	3.6/3.4	—	—
後遺症や死亡率について	—	—	—	3.7/3.6	—
何人に一人の割合で発症するのか	—	—	—	—	3.4/3.2
原因となる食べ物は何か	3.8/3.7	—	—	—	—
原因となる微生物の名前は何か	—	3.1/3.1	3.6/3.4	—	—
原因物質の名前は何か	—	—	—	3.5/3.3	3.8/3.8
どのような経路で感染するのか	3.7/3.6	3.6/3.6	3.8/3.8	—	—
どのような経路で拡散するのか	—	—	—	3.8/3.6	—
危険が予想される地域はどこか	3.6/3.3	3.6/3.4	3.8/3.5	3.8/3.6	—
投与した医療機関の名前	—	—	—	—	3.7/3.7
症状が出る服用量	—	—	—	—	3.7/3.5
感染した場合の対処方法	—	3.7/3.5	3.9/3.7	—	—
物質の影響が出た場合の対処方法	—	—	—	3.9/3.7	3.8/3.6
対応可能な医療機関の情報	3.7/3.5	3.6/3.5	3.8/3.6	3.8/3.6	3.7/3.6
予防方法(防御方法)	3.7/3.5	3.5/3.4	3.8/3.6	3.8/3.6	3.7/3.4
発生に関する問い合わせ先	3.4/3.2	—	—	—	—
終息宣言の内容	3.5/3.2	3.3/3.1	3.5/3.3	3.6/3.3	3.4/3.1

IN: インターネット調査(15項目)

MS: 郵送調査(インターネット調査項目と同じ15項目を抜粋)

食中毒: 食中毒の集団発生に関する情報

インフルエンザ: インフルエンザ等の感染症に関する情報

SARS: 重症呼吸器症候群(SARS)等の未知の感染症に関する情報

化学物質: 化学物質・有害物質の流出事故等に関する情報

医薬品: 医薬品の関する情報

—: 質問項目に含まれていないことを表している

【健康情報アンケート調査のお願い】

インフルエンザの流行、SARS（サーズ）の流行あるいはO-157の食中毒など、現在私たちを取り巻く環境では、いつこのような事件が起きるかわかりません。

健康情報アンケートは、このような事件が発生した時に、皆さまが健康危機に関してどのような情報を必要としているのか、あるいは知りたいと思っているのかについてのアンケート調査です。

今回の調査では、約1,200人の皆さまを住民基本台帳より無作為に選び、あなた様にもご協力していただきたくアンケート用紙を送らせていただきました。

このアンケートは厚生労働省厚生労働科学研究費の補助を受けており、今回が初めての調査となります。つきましては、今後の健康情報の発展に資するため、お忙しいことと思いますが、アンケートに対する皆さまのご協力をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

アンケートには、御氏名、御住所、お電話番号を記載していただく必要はありません。お答え頂いた内容については、すべて統計的な処理を行って集計・分析しますのであなた様のご意見がそのまま公表されることは決してございません。また、この調査の目的以外には一切使用されることはありません。

アンケートにご協力いただける場合は、ご回答のあと、同封してあります返信用封筒に入れてお送りください。その際に切手を貼る必要はありません。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

平成16年11月

※調査票のご記入にあたっての注意事項

1. 調査票の回答については「**宛名**」のご本人がご記入ください。
2. ご本人が長期不在など何らかの理由によりご回答いただけない場合は、ご家族の中で**ご本人に最も年齢が近い方**がご回答いただきますようお願いいたします。
3. ご記入がすみましたら、無記名のまま同封の返信用封筒に入れて、**平成16年11月30日（火）**までにポストにご投函下さい。
なお切手は不要です。

この調査についてご不明な点や疑問点等がありましたら、下記の調査委託機関までお問い合わせください。

<アンケートに関するお問い合わせ先>

調査委託機関

(株)ケー・シー・エス 保健医療部

〒162-0801

東京都新宿区山吹町347藤和江戸川橋ビル5F

担当：高尾、安淵

電話：03-5206-6882

<調査委託元>

福岡大学医学部衛生学教室、(財)秋田県成人病医療センター

健康危機情報に関するニーズ調査

A. 食中毒(集団発生)に関する情報について

あなたの住んでいる近所で、大規模な食中毒が発生して多くの人が病院に運ばれたとします。こうしたとき、あなたはどのような情報について知りたいと思いますか。以下の項目について、その情報の必要性に○をつけてください。また、特に重要だと思われる情報を5つまで選び、◎を付けてください。

	必ず 知り たい	知 り た い	あ ま り 必 要 で は な い	必 要 な い
1. いつ発生したのか(記入例)	○			
2. どこで(どの範囲で)発生しているか(記入例)	◎			
1. いつ発生したのか				
2. どこで(どの範囲で)発生しているか				
3. はじめに何人発症したか				
4. 今現在、何人発症しているか				
5. はじめに何人死亡したか				
6. 今現在、何人死亡しているか				
7. その食中毒にかかるとどんな症状がでるのか				
8. その食中毒にかかった場合の死亡率はどれくらいか				
9. 食中毒の原因となる菌の名前について				
10. 食中毒の原因となる食べ物について				
11. 食中毒がどのような経路で感染するのかについて				
12. 食中毒菌がどのような経緯で原因となる食べ物に付着したのかについて				
13. 食中毒がどこの飲食店で発生したのか、又はどこの店で販売された商品によって発生したのか				
14. 症状を引き起こす食品・商品の製造時期について				
15. 二次感染の可能性について				
16. 最初の頃に発症した人の性別について				

	必ず 知り たい	知 り た い	あ ま り 必 要 で は な い	必 要 な い
17. 最初の頃に発症した人の年齢について				
18. 最初の頃に発症した人の移動ルートについて				
19. 最初の頃に発症した人の利用した交通機関の日時、時間帯について				
20. 最初の頃に発症した人の居住地について				
21. 最初の頃に発症した人の立ち寄った場所の日時、時間帯について				
22. 食中毒の危険が予想される地帯について				
23. 自分が食中毒なのかどうかを調べる手段について				
24. 自分がその食中毒の症状を発した場合、どうすればいいのか				
25. その食中毒に対応可能な病院・医療機関の情報について				
26. その食中毒に対する予防方法について				
27. その食中毒発生に関する問い合わせ先について				
28. 終息宣言について				
29. 終息宣言後の経過状況について				

B. 感染症(インフルエンザ等)に関する情報について

あなたの住んでいる近所で、大規模なインフルエンザ等の感染症が流行したとします。こうしたとき、あなたはどのような情報について知りたいと思いますか。以下の項目について、その情報の必要性に○をつけてください。また、特に重要だと思われる情報を5つまで選び、◎を付けてください。

	必ず知りたい	知りたい	あまり必要ではない	必要ない
1. いつ発生したのか(記入例)		○		
2. どこで(どの範囲で)発生しているか(記入例)	◎			
1. いつ発生したのか				
2. どこで(どの範囲で)発生しているか				
3. はじめに何人発症したか				
4. 今現在、何人発症しているか				
5. はじめに何人死亡したか				
6. 今現在、何人死亡しているか				
7. そのインフルエンザにかかったときの症状について				
8. 感染力の強さはどれくらいか				
9. インフルエンザにかかった場合の死亡率はどれくらいか				
10. インフルエンザの原因の菌、ウィルスの名前について				
11. インフルエンザの感染経路(接触感染、空気感染)について				
12. 原因となるウィルス、菌の伝播動物について				
13. 二次感染の可能性について				
14. 危険が予想される地帯について				
15. 自分がインフルエンザにかかったかどうかを調べる手段について				
16. インフルエンザにかかった場合、どうすればいいのか				
17. インフルエンザに対応可能な病院・医療機関の情報について				
18. インフルエンザの予防方法について				

	必ず知り たい	知り たい	あまり必要 ではない	必要 ない
19. インフルエンザ流行に関する問い合わせ先について				
20. 終息宣言について				
21. 終息宣言後の経過状況について				

C. 感染症(SARS等の未知のもの)に関する情報について

先般流行したSARSのような未知の感染症が日本で発生した場合、あなたはどのような情報について知りたいと思いますか。以下の項目について、その情報の必要性に○をつけてください。また、特に重要だと思われる情報を5つまで選び、◎をつけてください。

	必ず 知り たい	知 り た い	あ ま り 必 要 で は な い	必 要 な い
1. いつ発生したのか(記入例)		○		
2. どこで(どの範囲で)発生しているか(記入例)	◎			
1. いつ発生したのか				
2. どこで(どの範囲で)発生しているか				
3. はじめに何人発症したか				
4. 今現在、何人発症しているか				
5. はじめに何人死亡したか				
6. 今現在何人死亡しているか				
7. その感染症にかかるとどのような症状が出るのか				
8. その感染症の感染力の強さはどれくらいか				
9. その感染症にかかった場合の死亡率はどれくらいか				
10. その感染症の原因となる菌、ウィルスは何か				
11. その感染症の感染経路(接触感染、空気感染)について				
12. その感染症がどういった経路で日本に入ったか				
13. 原因となるウィルス、菌の伝播動物について				
14. 二次感染の可能性について				
15. 感染者の性別について				
16. 感染者の年齢について				
17. 感染者の移動ルート				
18. 感染者の利用した交通機関の日時、時間帯について				

	必ず知り たい	知 り た い	あ ま り 必 要 で は な い	必 要 な い
19. 感染者の居住地について				
20. 感染者の立ち寄った場所の日時、時間帯について				
21. 危険が予想される地帯についてについて				
22. 自分がその感染症に感染したかどうかを調べる手段について				
23. その感染症の症状が出た場合、どうすればいいのか				
24. その感染症に対応可能な病院・医療機関の情報について				
25. その感染症の予防方法について				
26. その感染症に関する問い合わせ先について				
27. 終息宣言について				
28. 終息宣言後の経過状況について				

D. 化学物質・有害物質の流出事故等に関する情報について

あなたの住んでいる近所で、化学薬品やガスなど人体に有害な物質の流出事故が発生したとします。こうしたとき、あなたはどのような情報について知りたいと思いますか。以下の項目について、その情報の必要性に○をつけてください。また、特に重要だと思われる情報を5つまで選び、◎を付けてください。

	必ず知りたい	知りたい	あまり必要ではない	必要ない
1. いつ発生したのか(記入例)		○		
2. どこで(どの範囲で)発生しているか(記入例)	◎			
1. いつ発生したのか				
2. どこで(どの範囲で)発生しているか				
3. はじめに何人が傷害したか				
4. 今現在、何人が傷害しているか				
5. はじめに何人死亡したか				
6. 今現在、何人死亡しているか				
7. その有害物質に接触して被害にあった場合、どのような症状にみまわれるのか				
8. その有害物質に接触して被害にあった場合の後遺症や死亡率について				
9. 有害物質(化学物質)の名前について				
10. 有害物質の拡散経路(地上を流れてくる、井戸水に混入している、等)について				
11. 有害物質の流出が起きた原因について				
12. 二次汚染の可能性について				
13. 危険が予想される地帯について				
14. 避難場所・安全地帯について				
15. 自分が有害物質による影響を受けたかどうかを調べる手段について				

	必ず知 りたい	知 り た い	あ ま り 必 要 で は な い	必 要 な い
16. その有害物質による影響と思われる症状が出た場合、どうすればいいのか				
17. 被害にあった場合に対応可能な医療機関の情報について				
18. 自宅滞在時や避難移動時における有害物質の防御・予防方法について				
19. その有害物質の流出事故・健康影響に関する問い合わせ先について				
20. 終息宣言について				
21. 終息宣言後の経過状況について				

E. 医薬品に関する情報について

ある医薬品や治療により、死亡を含む副作用や重大な後遺症の発生が明らかになったとします。こうしたとき、あなたはどのような情報について知りたいと思いますか。以下の項目について、その情報の必要性に○をつけてください。また、特に重要だと思われる情報を5つまで選び、◎を付けてください。

	必ず 知り たい	知 り た い	あ ま り 必 要 で は な い	必 要 な い
1. いつ発生したのか(記入例)	○			
2. どこで(どの範囲で)発生しているか(記入例)	◎			
1. いつ発生したのか				
2. どこで(どの範囲で)発生しているか				
3. はじめに何人発症したか				
4. 今現在、何人発症しているか				
5. はじめに何人死亡したか				
6. 今現在、何人死亡しているか				
7. 副作用や後遺症の症状について				
8. 何人に一人の割合で症状が発症するのか				
9. 原因となる医薬品は何か				
10. その医薬品がどの病院・医院で投与・処方されたのか				
11. 問題のある医薬品の製造・投与・使用時期について				
12. どれくらいの量を服用していたら症状が出るのか				
13. どれくらいの期間、継続して服用していたら症状が出るのか				
14. その医薬品を服用して問題のある人(血圧の高い人、妊婦、等)について				
15. 自分が服用していた医薬品が問題のある医薬品だったかどうかを調べる手段について				

	必ず知 りたい	知 り た い	あ ま り 必 要 で は な い	必 要 な い
16. 自分が医薬品による被害を受けたかどうかを調べる手段について				
17. 副作用や後遺症が出た場合、どうすればいいのか				
18. 副作用や後遺症が出た場合に対応可能な医療機関の情報について				
19. その医薬品事故の予防方法について				
20. 医薬品に関する問い合わせ先について				
21. 終息宣言について				
22. 終息宣言後の経過状況について				

健康危機情報に関する情報把握調査

— この調査は、先般のSARS等の未知の感染症が発生した場合を想定して行うものです —

先般流行したSARSの例にあるように、非常に感染力が強く死亡率の高い、未知の危険な感染症が日本で発生したとします。国、自治体などでは、大規模な流行を未然に防ぎ、治療と対策のために、感染者の可能性のある人に保健所などに連絡するよう呼びかけたとします。

以上のような状況を前提として、次ページからの質問にお答え下さい。

A. あなたが未知の感染症に感染した可能性がある場合、このことを行政機関(役所、保健所等)に連絡をしますか。

1. する 2. しない

(1)A. の質問で「しない」とお答えになった方にお尋ねします。

行政機関に連絡をしない理由について該当するものに○をつけてください。(複数回答可)

1. プライバシーを公開されたくないから 5. 行政機関にかかわりたくないから
 2. 家族に迷惑がかかるから 6. 行動を制限される恐れがあるから
 3. 職場に影響があるから 7. その他 ()
 4. 近所に知られたくないから

(2)A. の質問で「する」とお答えになった方にお尋ねします。

行政機関に連絡をする場合、個人に関する情報について、どこまでお答えできますか。

また、それを公開してもいいとお考えになりますか。

	とても良い 答えるし、公開し	答えるが、公開は しないで欲しい	答えない
1. 氏名(記入例)		○	
1. 氏名			
2. 年齢			
3. 性別			
4. 職業			
5. 勤務先			
6. 住所；県名まで			
7. 住所；市町村名まで			
8. 連絡先；自宅の電話番号			
9. 連絡先；勤務先の電話番号			

	答えるし、公開しても良い	答えるが、公開はしないで欲しい	答えない
10. 連絡先；携帯電話の番号			
11. 連絡先；メールアドレス			
12. あなたの行動履歴			
13. あなたが行動した先で接触した人の名前			

(3) あなたはご自分が感染症に感染した可能性があることを、行政機関以外の第三者に知らせますか。該当するものに○をつけてください。(複数回答可)

- | | | |
|---------|---------|-------------|
| 1. 家族 | 4. 友人 | 7. 誰にも知らせない |
| 2. 病院 | 5. 仕事先 | 8. その他 () |
| 3. 近所の人 | 6. マスコミ | |